

2008年度 人文学部(心理人間学科・日本文化学科)・数理情報学部(B方式)

2008年2月11日実施

解 答

1 (A)	2 (B)	3 (B)	4 (C)	5 (C)	6 (D)
7 (C)	8 (B)	9 (B)	10 (B)	11 (D)	12 (A)
13 (D)	14 (C)	15 (B)	16 (C)	17 (A)	18 (D)
19 (C)	20 (B)				

1. 「その仕事を次の月曜日までに仕上げてください」

▶ 完了の「期限」を表す前置詞の(A)byが正解。(B)untilは「継続」を表す。

■『時』を表す前置詞byとuntil[till]の使い分け

by 「～までには」 ————— 『動作の完了の期限』

until[till]「～まで(ずっと)」 ————— 『継続の終了時』

cf. *I'll be here by five o'clock.* (5時までにはここに来ています)
I'll be here till five o'clock. (5時までずっとここにいます)

2. 「アンナはゴールデンウィーク中にスペインへ行く考えにとても興奮していた」

▶ the idea of doing 「～するという考え方」同格のof。

■『名詞+of+動名詞』で同格を表現する

His idea of making a fortune overnight is unrealistic.

(一晩で大儲けをするという彼の考えは非現実的だ。)

▶ 動名詞は、「実際に起きていること/習慣的なこと/客観的可能性」などを表す。ofは「～に関する」という意味合いをもち, **idea, difficulty, dream, habit**(習慣)などの名詞と結びつく。

□ be excited at[about, by] ~「～に興奮する」

She is excited about[by] going to the movies

(彼女は映画に行くというのでうきうきしている。)

3. 「私はキムに来週行われる私の誕生日会にスパイダーマンのDVDを持って来るよう頼んだ」

□ bring A to[for] B 「(人が)A(物)をB(人)に持つて来る」

▶ toは方向, forは「利益になるように」の意。

She brought some flowers to school.

(彼女は花を学校へ持つて来た。)

4. 「リカは娘と一緒に熱海へ行ったことは以前に一度もなかった」

▶ have been to ~「～に行ったことがある」完了形で(A)everを使うのは普通、否定文(not ~ ever)か疑問文。「～を訪ねる」という意味でのvisitは他動詞用法が普通なので, (C)never beenが正解。

■ have been to ~の用法

(1) [経験] ~に行つたことがある

Have you ever been to China? (中国に行ったことがありますか)

▶ 「～に行つたことがある」『経験』はhave been to ~を使うのが本来だがアメリカではhave gone to ~を使うこともある。

Has he ever gone[been] to Paris? (彼はパリにいったことがあるか)

(2) [完了] ~に行って(今帰つて)きたところだ

I have just been to the airport to see my friend off.

(空港まで友達を見送りに行ってきましたところです。)

cf. [結果] **have gone to ~**「～に行ってしまつた(今はいない)」

5. 「病院中の全ての医師の中で、高橋医師が一番上手に英語を話す」

▶ Of all ~「あらゆる～の中で」このofはamongと同じ。

6. 「このズボンの値段はいくらですか」

▶ 金額を尋ねるときはHow muchを使う。costは一般動詞なので、助動詞は(C)are

ではなく、(D)doになる。

cf. **cost** A(人) B(金額) 「A(人)にB(金額・費用)がかかる」

This hat *cost me \$100.* (この帽子は100ドルした。)

7. 「休暇中に病気になった場合に備えて私たちには保険に入るべきだ」

► **take out insurance** 「保険をかける」

□ **in case S+V** 「～するといけないから/の場合に備えて」

I think you had better carry an umbrella *in case* it rains.

(雨が降るといけないから、傘を持って行ったほうがよい。)

► **in case**が導く節で**should**を用いることがある。

I'll buy a flashlight *in case* there **should** be a power cut.

(停電になるといけないので、懐中電灯を買おう。)

8. 「明日は京都の古い寺院を片っ端から見て回って過ごしたいと思っている」

► **go around doing** 「片っ端から～して回る」 他は**doing**と接続しない。

□ **intend to do** 「～するつもりである」 (= **mean to do**)

I **intend to stay** in New York for one month.

(私は1か月間ニューヨークに滞在するつもりだ。)

□ **spend A (in) doing** 「A(時間)を～して過ごす/Aを～するのに費やす」

The children **spent the afternoon collecting shells** on the beach.

(子供たちは午後海岸で貝殻集めをして過ごした。)

9. 「私があと5分早く駅に着いていれば、その列車に乗れただろうに」

► 主節で**could have caught**という仮定法過去完了の形が使われているので、if節にある空欄には動詞の過去完了形が入ると考える。選択肢の中で過去完了形は(B)である。

■ 仮定法過去完了の文の形「もし～だったなら、…だったろうに」

If + S + 動詞の過去完了形, S + $\begin{cases} \text{would} \\ \text{could} \\ \text{might} \end{cases}$ + have + 過去分詞

〈助動詞の過去形 + have + 過去分詞〉 という形を確認。

10. 「泥棒が建物に侵入するとすぐに、犬が吠え始めた」

► The minute (that) ... 「…するとすぐに」 (= The moment[instant] that ... = As soon as + S + V) 時制の一致でともに過去形になり、(B)が正解。

□ **the minute (that)** ~ 「～するとすぐに/～したとたん」

(= the moment[instant] that ~)

Let me know *the minute* they get here.

(彼らがここに着いたらすぐに知らせてください。)

11. 「夏に一日中エアコンをついていると、電力消費量は急激に上昇する」

► **electricity consumption** 「エネルギー消費(量)」 **consumption**は**consume**「～を消費する」の名詞形。

► (A)**amount**「量」, (B)**quantity**「量(⇒quality質)」, (C)**frequency**「頻度」

■ 付帯状況のwith

「**with**+A(名詞)+分詞」の形で「Aを～(の状態に)して」という意味を表す。このような表現を『付帯状況のwith構文』という。

Aと分詞の関係が**能動**なら**現在分詞**(*doing*)、**受動**なら**過去分詞**(*done*)を用いる。

補足 分詞の代わりに形容詞、副詞、場所を示す句などを用いて付帯状況を表すこともある。

with your mouth full 「口に食べ物をほおばって」 [形容詞]

with her socks on 「靴下をはいて[はいたまま]」 [副詞]

with tears in her eyes 「目に涙を浮かべて」 [場所を示す句]

12. 「知らない単語は辞書で調べるべきです」

- ▶ **look up ~ in a dictionary** 「～を辞書で調べる」
- ▶ (B)check with ~「(専門家・上司)に相談する」, (C)consult「(辞書・本など)を調べる/～に意見を求める」
cf. consult a dictionary for the spelling 「綴りを辞書で調べる」
- **look up ~** 「(辞書・電話帳を使って)～を調べる」
Look it up in the telephone book.
(電話帳で調べてください。)

- **look into ~** 「(問題・事件など)を調べる」 (= **investigate/examine**)
- **look over ~** 「(書類など)にざっと目を通す/～を調べる」 (= **check**)

13. 「あなたが会議に行く前に、私と一緒に演説の見直しをしませんか」

- ▶ 文意より (D)go over 「～を見直す」が適当である。
- ▶ (A)take over ~「(事業・職務など)を引き継ぐ」, (B)turn over ~「～をひっくり返す」, (C)get over ~「(困難など)を乗り越える/(病気・精神的痛手)から回復する[立ち直る]」
- **go over ~** 「～を見直す/(せりふ・説明など)を繰り返して練習する」
I went over the notebooks before the exam.
(私は試験の前にノートを見直した。)

14. 「ウメダ先生はほぼ1分間の間、怒ってクラスの生徒たちを見つめた」

- ▶ **stare at ~** 「(人・物など)をじっと見つめる」 (A)observe「～を観察する」, (B)glimpse
は他動詞で「～をチラッと見る」 (= **glance at ~**)
- **stare at ~** 「(人・物など)をじろじろ見る/じっと見つめる」
She stared in wonder at the doll in the window.
(彼女はウインドーの中の人形を驚きの目で見た。)

15. 「『タカシ、私をもう一人にしないで』と、彼女は静かにささやいた」

- ▶ quietlyに合うのは (B)whisper「ささやく」である。Never leave me again. 「もう一人にしないで」
- ▶ (A)shout「叫ぶ」, (C)object「反対する」, (D)inquire「尋ねる」

16. 「返却期限までに図書館へ本を返さなければ、罰金を支払わなければならないだろう」

- ▶ (C)fineに「罰金」の意味がある(動詞で「～に罰金を課す」もある)。
- ▶ (A)fare「乗り物の運賃」, (B)cost「(何かにかかる)費用/経費」, (D)credit「信用/貸金」

『料金・お金』を表す名詞

- | | |
|---|---|
| □ charge 「(サービスに対する)料金/(電気・ガスなどの)公共料金」 | □ toll 「(有料道路などの)通行料」 |
| □ fare 「(乗り物の)運賃」 | □ fee 「(専門職の人へと)謝礼/報酬/(受験・入会・入場)料金」 |
| □ tuition 「(大学・私立学校などの)授業料(tuition fee)」 | □ price 「(商品の)値段」 |
| □ cost 「(何かにかかる)費用/経費」 | □ rent 「家賃/賃貸料」 |
| □ fine[penalty] 「罰金」 | □ admission 「入場料(admission fee[charge])」 |
| □ commission 「手数料/歩合」 | □ tax 「税金」 |
| □ cash 「現金」 | □ pay 「給料/報酬」 |
| | □ profit 「利益」 |
| | □ check 「小切手」 |
| | □ bill 「請求書/勘定」 |

17. 「アパートを出る前に必ずガスを止めてくださいね」

- **turn off ~** 「(テレビ・ラジオ・電灯など)を消す/(ガス・水道など)を止める」
- ⇒ **turn on ~** 「(テレビ・ラジオ・電灯など)をつける/(ガス・水道など)を出す」

She turned on the TV. (彼女はテレビをつけた。)

She turned off all the lights which had been left on.

(彼女はつけっぱなしの明かりを全部消した。)

- **be sure to do** 「必ず～する/きっと～する」 (= **be certain to do**)

Be sure to make a reservation before going to the restaurant.

(そのレストランに行く前に必ず予約するようにしなさい。)

- stop off** 「(途中で)立ち寄る」 **blow out** ~「(タイヤなど)をパンクさせる」
 shut out ~「～を締め出す」

18. 「パーティは上司から仕事を早退する許可を得た」

- get permission from ~「～から許可を得る」 permissionは動詞permitの名詞形。
► (A)attention「注意、配慮」, (B)appreciation「感謝;正しい理解」, (C)admission「入場料;入場許可」, (D)permission「許可」

19. 「メアリーの父親は彼女の試験が終わるまでは、どんなアルバイトも彼女にさせないだろう」

- let A do(原形不定詞)「Aが～することを許す」 permit[allow] A to doとの違いに注意。

- let A do** 「(望みどおり[勝手に])Aに～させる」

Ken lets his children have their own way, so they stay up late at night.

(ケンは子供たちに好き勝手させているので、彼らは夜遅くまで起きている。)

20. 「その会社の社長は新しい従業員を歓迎する長いスピーチを行った」

- make[give, deliver] a speech** 「スピーチをする」

The prime minister made a speech on national defense.

(首相は国防に関する演説をした。)